

## 地域再生計画

1 地域再生計画の申請主体の名称  
新城市

2 地域再生計画の名称  
DOS地域再生プラン  
(Do Outdoor Sports)

3 地域再生の取組を進めようとする期間  
地域再生計画の認定日  
期間 10年

4 地域再生計画の意義及び目標

高齢化の進展と若者の転出により、まちの活気が失われつつある中で、地域が元気を取り戻すためには、人々が訪れたい、魅力的で個性ある地域づくりを進める必要がある。

幸い本市には広大な山林や清流といった豊かな自然があることから、これら地域資源を有効に活用した、アウトドアスポーツによるまちづくりを推進することで、魅力的で個性ある地域を創出し、ひいては地域経済の活性化と雇用創出を図りたいと考えている。

近年の都市化の進展による社会形態や生活様式の変化は、しばしば身体活動の機会を減少させるのみならず、精神的なストレスの増大にもつながることが指摘されている。一方、自由時間の増大により、人々は、自分らしい豊かなライフスタイルを築きたいという欲求を高め、新しい暮らし方を求めるようになってきている。

このような状況の中、本市においては、自然のフィールドで楽しめるアウトドアスポーツが、豊かな暮らしという視点から注目されるようになっており、競技人口も年々増加傾向にある。

そこで、新城市では、アウトドアスポーツの振興を主要施策として位置づけ、いつでも・どこでも・誰でも気軽にアウトドアスポーツに参加できる環境づくりを進めている。具体的には、アウトドア活動に関する情報提供やアウトドア活動の魅力を多くの人に理解してもらうためのフォーラム開催、安全で質の高いサービスを提供するための関係団体の育成と指導者の養成、さらには、自然とふれあう場所の保全・確保・提供などである。ハード面の整備としては、パラグライダーのテイクオフやランディング場所

の拡張整備・河川敷の整備や進入路の整備・林道の安全対策など、アウトドアスポーツ愛好者の利便性の向上施策を行う。

こうした振興策に併せて、今回の地域再生の取り組みにより各種アウトドアスポーツ大会の開催が活発化され、ひいては地域からの情報発信につながり、持続的な集客効果が期待される。こうしたサイクルを継続することが、若者が集う元気なまちの創出につながる。

#### 5 地域再生計画の実施が地域に及ぼす経済的社会的効果

アウトドアスポーツの拠点として知名度を高めることで、全国から、新城市の山や川に愛好者が年間を通じて集うようになり、また各種の大会を継続開催することで、大会関係者や観客の流入が恒常的となり、こうしたことが飲食店等客数の増加と新規営業の出店や宿泊客の増加につながる。さらには、これに伴う雇用機会の増大や新規事業の起業などの経済効果が期待できる。

一方、本市は、平成16年3月に「しんしろ生涯スポーツプラン」を策定したが、同プランでは、自然条件を生かしたスポーツの振興を掲げており、本地域再生計画との相乗効果により、市民の健康の保持増進、体力の向上など、心と体の健全な発達が期待できる。

#### 経済効果

	現在(年間)	5年後(H21)	10年後(H26)
宿泊客	2,581人	20%増	40%増
観光客等	724,800人	2%増	4%増
小売販売額	3,634,970万円	0.25%増	0.5%増

宿泊客は、5年後にラリー関連で500人、10年後は1000人を想定した。

観光客は、各種イベントに10000人・恒常的なアウトドアスポーツ活動者5000人とし、10年後はその2倍を目標とした。

小売販売額は、競技者・観戦者等の増加と合わせ、その1次・2次の波及効果を想定した。

	現在	5年後(H21)	10年後(H26)
宿泊収容能力	338人	10%増	20%増
小売業事業所数	418店舗	5%増	10%増
“ 従業者数	2,389人	5%増	10%増

宿泊収容能力は、市内のホテル・旅館・民宿の宿泊可能人数の合計で、5年後の数字は既存宿泊施設の収容能力の増、10年後は新規開業2件を見込んでいる。

小売業事業所数は、飲食関連新規出店10軒・その他10軒、10年後はその2倍を目標とする。

小売業従業者数は平均1店舗当たり6人として、事業所数の増加に合わせた。

### 本年度の具体的効果

#### ラリー関係（新規）

- ・ 参加選手、サービススタッフ、観客などがラリーのために集客する事により宿泊、食事、ガソリンなどの費用投下。
- ・ 各種のマスメディアにより新城市を発信。
- ・ JAF公認中部地域選手権は過去の実績によると、参加台数：45台 参加人数：90人 サービス車両：30台 サービス人数：90人 宿泊：140名(選手関係のみ) 観客動員：200名 関連イベント観客：1000人

#### いかだカーニバル関係（継続）

- ・ 清流豊川を三河材を利用した手作りいかだで、約2kmを下るいかだカーニバルを毎年開催している。
- 15年度は、58艇の参加 参加者：438人 スタッフ：148人 観客：2000人

#### マラソン大会関係（継続）

- ・ 設楽原古戦場跡を駆け抜けるしんしろマラソンを毎年開催している。
- 15年度は、県内外から1428人のランナーの参加 スタッフ：250人 観客：2000人

### 6 講じようとする支援措置の番号及び名称

- ・ 201001 映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化
- ・ 212031 「水辺の自由使用ガイドライン」の策定

### 7 構造改革特区の規制の特例措置により実施する取組その他の関連する事業

#### アウトドア活動の振興施策の展開

アウトドア活動の情報の提供と機運の醸成

インターネットやパンフレットなどを活用したアウトドア活

動に関する情報提供や、市民にアウトドア活動の魅力を認識してもらうため、フォーラムなどを開催する。

#### マナー等の普及啓発

自然環境等への配慮、安全対策などに関する様々なマナー・ルール等の普及啓発を図る。

#### 安全で質の高いサービスを担う指導者等の育成

研修会や講習会に協力助成することで、指導者の育成や養成を行う。

#### アウトドア関連起業の育成

アウトドア関連起業に対して、事業資金の融資の円滑化を図るなどの支援をする。

#### 活動拠点施設整備

情報発信やアウトドア活動の拠点となる施設の整備や提供を行う。

#### 関連施策

##### 交通安全イベント等の実施

ラリー参加者の安全運転技術を活かした交通安全イベントやモータースポーツの理解促進を目的とする事業を実施する。

#### 8 その他の地域再生計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

特になし

別紙

1 支援措置の番号及び名称

201001

映画口ケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化

2 当該支援措置を受けようとする者

JAF中部地域クラブ協議会  
新城市体育協会  
イベント実施関係団体

3 当該支援措置を受けて実施又はその実施を促進しようとする取組の内容

以下に掲げているような大会、イベントの実施を想定しているが、これにあたって、当該支援措置により発出された通達に基づき、地区説明会等により地域住民、道路利用者等の合意形成に努める。

ラリー大会

ラリー大会を、市内の林道・市道・県道・国道を使用して開催する。

平成16年度 中部7県ラリー大会

開催予定 平成16年10月2日(土)・3日(日)

平成17年度 全日本ラリー大会

平成18年度 アジア地区ラリー大会

以後毎年開催予定

マラソン大会

毎年、新城マラソンを、市内の県道・市道を使用して開催する。

開催予定 平成17年1月16日(日)

ラリー関連イベントとして中心市街地の県道・市道を使用して交通安全パレード及びラリーカーのデモ走行を実施する。

開催予定 平成16年10月2日(土)

## 別紙

### 1 支援措置の番号及び名称

2 1 2 0 3 1

「水辺の自由使用ガイドライン」の策定

### 2 当該支援措置を受けようとする者

新城市観光協会

### 3 当該支援措置を受けて実施又はその実施を促進しようとする取組の内容

毎年、いかだカーニバルを、一級河川水系豊川の河川敷を使用して開催する。

昭和63年度に第1回を開催して以来、毎年多くの参加者がある。

地域資源である木材「三河材」を利用したイベントで、豊川の清流に親しみ、自然と人とのふれあいを大切にした地域づくりを進めようとするプロジェクトである。

なお、当該支援措置に伴うガイドラインが策定された際には、それに沿った形で上記のようなイベントを行いたい。